

5 学生の受け入れ

進捗状況報告

○施策の目標の達成度を測る指標		公開/非公開	全学的な視点	個別的な視点	単位	2005	2006	2007	2008	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	公開	○	○	%	61.5%	69.1%	64.7%	64.0%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
表	入試形態別入学者数	公開	○	○		→	→	→	→	大学基礎データ15参照
表	学部の社会人・留学生・帰国生徒数	公開	○	○		→	→	→	→	大学基礎データ表16参照
○基礎的な状況を継続的に観測する指標		公開/非公開	全学的な視点	個別的な視点	単位	2005	2006	2007	2008	備考
指標2	志願者総数	公開	○	○	人	5,260	6,706	8,220	6,297	
指標3	志願者倍率	公開	○	○	倍	8.1	10.3	12.6	9.3	志願者÷入学定員
指標4	入学者に占める近畿圏出身者の比率	公開	○	○	%					近畿圏出身入学者数÷入学者数 (注)出身は出身高校の地域による
<small>注)全学的な視点、個別的な視点について 全学的な視点とは入試部の進捗状況報告シートに表示される項目 個別的な視点とは各学部の進捗状況報告シートに表示される項目</small>										

学科別入試を導入して3年が経過した。現在、その成果を評価するための準備作業として追跡調査を継続している。また、一般入試の比率を全学の最終目標である50パーセントに近づけるために、全学の入試制度改革の取り組みの中で作業を進めてきており、昨年度も新たな施策を行なった。最適な入学者の選抜方法、それぞれの募集人員については引き続き検討している。A0入試については2年前より見直し作業に着手しており、昨年度は出願資格の記載を受験者に対してよりわかりやすくするための変更を決めた。昨年度に設置が決まっていた経済学部との連携コースは、予定通りこの4月よりスタートした。

学内第三者評価

「学生の多様性と質の確保」を目標に、入試制度の見直しに努め、指定校推薦による入学者の積極的受け入れを図っている。一般入試の比率は2008年度で64.0%で、大学全体の当面の目標値に近づいており、最終目標値である50%に近づけるためにさらに取り組んでいる。学科別入試導入後3年間の追跡調査について、その検証結果に注目したい。また、この4月よりスタートした経済学部との連携コースの今後の進展が期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。
学科別入試の追跡調査による検証に期待したい。